

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	唱歌「故郷」のふるさとおもてなし、農家民宿「なんだ屋」運営事業
事業主体 (連絡先)	中野市豊田特産振興会 (事務局) 小橋 善行 38-2526
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	467,560 円 (うち支援金: 327,000 円)

事業内容

- ・交流に活用するため、囲炉裏やピザ釜、電子レンジ、炊飯器を設置、購入しました。
- ・休日にそば店を開業し、地域食の販売と交流の場を提供しました。
- ・都会の若者を中心に、ボラバイターを受入れ、農作業の労働力不足に貢献し、農業就業へのきっかけを提供しました。
- ・LLP 有限責任事業組合を立ち上げ、組織強化を図りました。
- ・旅館業許可申請を行いました。



【目標・ねらい】

- ① 農業体験希望者の受け入れ。
- ② そば店の開業。
- ③ 女性グループ等の協力。
- ④ 今後の運営体制の整備。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ボラバイターを受入れ、農業定住に結びつくきっかけを提供した。
- ② 宿泊施設、食提供のために申請と備品を整備し交流と、おもてなしの環境整備ができた。
- ③ ボラバイター受入れ、なんだ屋そば店、イベント等で女性グループの協力を得た。
- ④ 地域おこし協力隊員と連携して事業を実施したことにより、当該隊員は就農、定住に結びついた。

※自己評価【B】

【理由】

そば店開業、ボラバイター受入れ等活動が開始できた。今後は安定運営にむけ、各種課題を克服したい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・今後は運営体制の強化と運営資金確保のため、有限責任事業組合「LLP」会員の増強、そば店運営を軌道に乗せる。
- ・地域おこし協力隊とも連携し、情報発信や民宿運営のノウハウを蓄積し開業する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある